

●今月の法語カレンダー●
浄土の教えは 凡夫にも修めやすく
行きやすい近道である

今月の法語は、「教行信証」に「凡小修し易き真教、愚鈍行き易き捷徑なり」と説かれる文によっています。仏法を聴くと、「凡夫」とは誰でもないこの私であることが知られます。親鸞聖人は、「凡夫」といふは、無明煩惱われらが身にみちみちて、欲もおほく、いかり、はらだち、ねたむところをおほくひまなくして、臨終の一念にいたるまで、とどまらず、きえず、たえず」と示されます。阿弥陀さまの光に照らされ自らの本當のすがたに気づいてこそ、浄土の教えの尊さに目覚めていけるのでしよう。

3月の行事

- 朝の日曜礼拝 午前7時
- お参り・御文章・7分法話
- 2/9/16/23/30日
- 春季彼岸会 午後1時半
- 20日(木) 春分の日
- 【講師】
- 福田 了潤 師 (山口県)
- 岸 弘之 師 (山口県)
- 入井 公昭 師 (奈良県)
- 脇谷 尚道 師 (香川県)

- 納骨合同法要
- 1日(土) 午前10時
- 婦人の集い3日(月)
- 築地「仏教婦人一日研修会」
- 午前9時半松戸駅集合です
- ボラン寺(寺報発送作業)
- 28日(金) 午前9時
- 雅楽教室
- 23日(日) 午後3時
- ヨーガ教室
- 12/26日(水)
- 午後1時



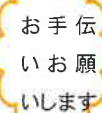
- 写経会 お休み
- お経サークル
- しばらくの間お休みします

4月の行事

- 仏教講座会 20日(日)
- 写経会 20日(日)
- 納骨堂合同参拝 5日(土)
- 婦人の集い 10日(木)
- ボラン寺 30日(水)
- 雅楽教室 20日(日)
- ヨーガ 9/23日(水)

寺報発送作業「ボラン寺」

今月は28日(金) 午前9時より、寺報発送作業を行います。簡単な作業です。ご協力よろしくお願い致します!



納骨堂合同法要ご案内

1日(土) 午前10時より、納骨堂にて合同法要が勤まります。どうぞご参詣下さい。



春のお彼岸法要

春らしくあたたかくなってきました。今年も春のお彼岸を迎えます。お彼岸には亡き方を偲ぶなかから、阿弥陀さまのお徳を讃え、そのお心を聴かせていただくことが大切です。お彼岸にはどうぞご家族そろってお寺にお参り下さい。

【日時】 3月20日(木) 春分の日
午後1時半(受付1時)～4時
お参り・ご法話・茶話会

【講師】 福田 了潤 師 (山口県)
岸 弘之 師 (山口県)
入井 公昭 師 (奈良県)
脇谷 尚道 師 (香川県)

今年のご講師は四人。若住職の京都時代の法友で、今春龍谷大学を卒業されたばかりの若手のお坊さんです。どうぞご法話を楽しみに、お聴聞にお出かけ下さい。

春から始めてみませんか!

お寺では月に一度「雅楽教室」を開いています。弘山光称先生には京都よりお越しいただき、箏・篳篥・龍笛・笙の三管をご指導いただいています。仏さまにお供えする音楽と一緒に奏でてみませんか。

【講師プロフィール】
東京芸術大学音楽学部
邦楽科雅楽龍笛専攻卒業
雅楽真和会主宰
伶楽舎会員

見学も大歓迎です!



(法要での演奏の様子)

お彼岸を迎えて

「親」という漢字の成り立ちに「木の上」に立って見ているもの」との意味があります。そこから、いつも目を離さないもの、遠くからいつも見つめているものを親というのだそうです。



浄土真宗では、阿弥陀さまのことを親様と言って慕ってきました。それは阿弥陀さまが、いつでもどこでも、決して私たちを見捨てることなく慈しみ育てて下さる存在だからです。

お彼岸の時期には、太陽が真東から昇り、真西に沈んでいきます。ぜひこのご法縁を通して、亡き方を偲ぶなかに、西方にあると説かれるお浄土に心を向け、いつも見守っていて下さる阿弥陀さまに感謝の心を新たに致しましょう。合掌

ご報告
インド仏跡巡拝の旅

1月末、11日間にわたってインドに行きまわりました。築地本願寺の仏跡巡拝旅行で、お寺からは安井誠子さん、本橋けいさん、そして私さんが加わり三名で参加をしました。



「仏跡」とはお釈迦さまのご生涯にわたるゆかりの地をいいます。今回訪れたのは七大仏跡といわれる、ご生誕の地、おさとりを開かれた地、涅槃に入られた地などの七ヶ所を回りました。

どの地を訪れてもタイ・台湾・ネパールと世界中の仏教徒が熱心にお参りされている姿がとても印象的でした。お坊さんたちは質素ながら黄色や赤といった派手な色々のお衣装、雄大な

インドの風景にとっても合っている。美しい景色が広がっていました。長閑な時間を過ごした今にまで教えが伝わり、多くの方がお釈迦さまの足跡を慕って手を合わせる姿は感動的です。



(初転法輪の地・サールナート)

今回は旅行にはベストシーズンのはず、ところがどういいうわけか大雨が降り、とても寒かったのです。用意した半袖は全く役に立たず、日本から着ていったコートが毎日手放せません。おかげでバスは雨漏り、また暑いインドでは暖房設備もなく、ホテルではお湯も出ないと、ちよつと予想外の寒さには参りました。でもこれはお参りの旅、少々の苦労はしなくてはいけません。そしてインドではこんなハプニ

ングも、訪れる楽しみの一つなのです。

国内便の出発が3時間半遅れた時、現地のガイドさんが、「インドではこれも『ちよつと遅れた』くらいです。国土も人口も日本の十倍ですから、ちよつとも十倍だと思つて下さいね」と笑つて仰いました。なるほど、ですね。雄大で豊かな自然に育まれたおかげでしょう、インドの人たちは大らかに朗らかです。町中にある牛や犬など、動物たちもなんだかかんびりしているように見えるから不思議です。本当にたくさんの方々にあふれた国なのです。

約2500年前、インドにいられたお釈迦さまは、



(涅槃のおすがた・クシナガラ)

29歳で出家をされ、6年間の苦行の末に35歳でさとりを開かれます。そして80歳で涅槃に入られるまでの45年間は伝道の旅を続けられました。一つ一つの仏跡を訪れる喜びとともに、その道すがらには「お釈迦さまはどのような思いでこの道を歩まれたのだろう」と考えると、とても感慨深いものがありました。お釈迦さまが生涯にわたつて命がけで伝えようとした「法」に出遇えた尊さを実感します。

インドは私の大好きな国。オススメですから、皆さんも機会があればぜひ訪れてみて下さい。今回は本当に有り難い旅となりました。



(ご生誕の地・ネパールのルンビニーにて)

(静香)

活動報告

★2月は寒い日が続きました。11日の日曜日、朝の礼拝の日に大雪が降りました！そんな中も4名の方がお参り下さり、大変有り難く思いました。毎週のことながら、朝早くからお参り下さるお姿には、頭が下がります。



★「仏教講座会」では、福井県の三寄靈証先生にご法話いただき、南無阿弥陀仏のお名号のお味わいを聴かせていただきました。また茶話会では甘酒をいただき、心も体もあつたまりました。



★3月はひな祭り。今お寺の玄関には婦人部の方々が手作りして下さったおひな様がいくつも並んでいます。とっても可愛らしいですから、ぜひ見て下さいね。

【編集後記】

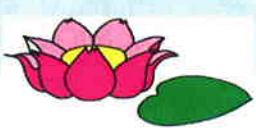
先日『築地新報』の取材で弘教カウンセラーの大須賀発蔵先生にお会いしました。とてもあたたかい方で、長年の活動で「陰こそ光」と気づかれたと仰います。人生苦しみや悲しみを通してこそ、仏さまの光に目覚めるご縁をいただけたらと聞かせていただきました。心に深く響く言葉でした。

門信徒会入会のご案内

どなたでも入会いただけます。毎月、寺報と仏教冊子をお送りします。年会費3千円。「寺友」の輪を広げませんか。

(発行元)
浄土真宗本願寺派 天真寺
千葉県松戸市金ヶ作106
047-389-0808
【ホームページ】
<http://www.tenshi.or.jp/>

天真寺婦人部「れんげ会」だより



今月の「婦人の集い」は、築地本願寺での仏教婦人一日研修会に参加します。ぜひ一緒にお聴聞致しましょう♪

【日時】3月3日(月) 午前11時～午後3時半
【講演】「限りない世界」 森田 眞円 師
(本願寺派司教・教学伝道研究所所長・龍谷大学講師・中央仏教学院講師)
【参加費】2000円(婦人部より1000円の補助あり)昼食が出ます

仏教讃歌のおあじわいの時間もあります、どうぞこちらも楽しみに。

午前9時半に松戸駅中央改札前の売店で待ち合わせです。
参加希望はお寺までお知らせ下さい。ご参加お待ちしております!!

2月は「ビデオ法話」の後、「お経練習会」を行い、『らいはいのうた』『十二礼』をお勤めしました。寒い時期で参加者が少なくちよつとさみしかったものの、皆さん大きな声でお参り下さいました。また4月は総会が行われます、ぜひこちらにも参加をご予定下さい。